

日時：令和5年1月16日（月）  
9時～11時30分  
場所：新世紀センター2階会議室

## 第2回

# DX推進ワーキンググループ<sup>o</sup>検討会



# キックオフ（前回）の振り返り



# 1. 市が目指す計画のテーマ ※ 職員アンケート調査の分析により

市民の利便性向上

業務の効率化

2つを支える  
人財育成

- 市民ニーズ・職員ニーズの多様化
- 業務量の増加&職員数増の抑制
- 情報技術を活用するための人材の必要性



デジタル技術の活用により、  
これらに対応し、  
「みんなが住みやすく、暮らしやすいまち」を目指す

## 2. ワーキンググループ検討会でやること

### タスク①「テーマの要因の深堀り」

「市民の利便性向上」「業務の効率化」「人財育成」について、

1. 何が課題なのか
  2. どのような状態になれば解決したと言えるのか（達成目標）
- をそれぞれ柱ごとに考える。

### タスク②「実施計画『個別取り組み』の内容を考える」

タスク①で整理した内容を踏まえ、

1. 解決すべき課題の優先順位を決める
2. 令和 **5～6** 年度に取り組む課題を決める **(修正)**
3. 目標達成のための取り組み内容の素案を考える

# 3. ワークショップ

「DX、デジタル・トランスフォーメーション」って

国・県・企画・DX室がいろいろ言っているけど、実現するのはかなり難しい...

でも

**どうすれば自分たちの自治体をよくできるか、考えることに価値がある！**

もっと住みやすくなるには、どうなっているといい？

将来の自分たちの働きやすさのためには、どうなっているといい？



取り組みに正解はないので、話し合い、アイデアを出し合って鹿島をもっと良くする方法を一緒に模索していきましょう！



## 4. 前回ワークショップの意見まとめ

---

タスク①に入る前に...

1. デジタル変革は必要だと思うか ⇒ **必要**

2. なぜデジタル変革は必要だと思うか

→市民にとってデジタル技術は一般化してきている。窓口での申請・手続などの市民の負担を軽減させ、市民の利便性を向上させるために必要。市役所に来なくても手続きできるように。《**市民の利便性向上**》

→業務を効率化させ、少ない職員数でも今後対応できるようにするため。職員の負担を軽減させるために必要。また、省力化させた分、機械ではなく、職員にしかできない業務（企画政策立案、住民対応）などに注力するために必要。《**業務の効率化**》

→デジタル変革で何ができるか職員が考えること。デジタル化に限らず、何のためにその業務をしているのか考えること。意識づくりと知識づくり。=スキルアップ。X（変革）人材を増やすために必要。

《**人財育成**》

## 5. 視聴

---

# 「なぜDXなのか・DXでできること」

福島県磐梯町CDO（最高デジタル責任者） 菅原 直敏 氏

※ youtubeより



## 6. ワークショップ

---

### タスク①「テーマの要因の深掘り」

「市民の利便性向上」「業務の効率化」「人財育成」について、

#### 1. 何が課題なのか

2. どのような状態になれば解決したと言えるのか（達成目標）  
をそれぞれの柱ごとに検討する。



## 7. 市民・地域との意見交換

---

# 「市民・地域が考える『課題』について」

鹿島DX研究会 副会長 岩永 信二 氏

### ※ 鹿島DX研究会とは

R3年5月に市民有志で設立された、「デジタル技術」や「DX」の考え方を活用した、新しい地域づくり、ビジネスモデルの構築等を自発的に研究し、市民生活の向上、地域産業の振興、地域の活性化など、鹿島市のまちづくりに資することを目的とする団体。

